



レース前に芝をかけるルクシオン

「育てた馬のレースを見ると、一緒に過ごした時間を思い出します」



むらやまみつひろ 村山光弘さん（杉水） よしたか 嘉崇さん、 ゆうき 央樹さん、 むらばやし か おり 村林香織さん ※左から順

12月13日に兵庫県で開催されたG1（中央競馬の最高格付けレース）に、2頭の県産馬が初めて出走した。そのうちの1頭「ルクシオン」を育てたのがストームファームの村山光弘さんだ。

村山さんが牧場を始めたのは14年前。強い競走馬を育て上げた牧場の映画を見たのがきっかけだった。だが当然ながら簡単な世界ではない。競走馬のほとんどは北海道生まれで、令和元年の競走馬生産頭数のうち熊本生まれは、全体のわずか0.4%のみ。「熊本から名馬を」馬づくりに力を入れた。村山さんは「試行錯誤を続け、種付けから手元を離れるまでの2年間、愛情をもって育てる。2時間おきに3カ月間ミルクを飲ませ続けた馬もいる。期待していたが、骨折してしまった馬もいる。さらに言えば、どれだけいい馬を送り出しても、育て方がうまくいかなければ勝てる馬にはなれない。関わる全ての人たちがチームとなって全力を尽くすのだ。

1番のこだわりはえさだ。蹄にいいもの、アキレス腱にいいものなどその馬に合わせて10種類以上を配合する。「送り出すまでは最高の餌を食べさせてあげたい」と話すのは親そのものだ。巣立った馬が勝ちとった賞金は、牧場にいる馬にも還元する。「OOが頑張ったよと声をかけながらあげています」とほほ笑む。

月日が流れ生まれたのが「ルクシオン」。意外にも生まれたときは小さく、か細かったため、活躍できるか心配だった。それでも、村山さんの愛情を受けたルクシオンは、才能を開花させた。「ルクシオンのレースを見ると、一緒に過ごした時間を思い出します」と目を潤ませる。「昨年はG1に出走する馬をつくる夢がかなった。今年はまたステップをあげたい」と走り続ける。今回のG1出走という一歩は村山さんだけでなく熊本県の競走馬生産者にとって大きな一歩となった。今後もレースの予定がいくつも組まれているルクシオン。馬は記憶力がいいと言われている。ルクシオンも村山さんを思い出しながら走っているのかもしれない。

広報 おおづ 2021 1

発行・編集 大津市 総務課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 大津市印刷株式会社
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL:096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

UD FONT
県やまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



今月のみどころ

令和3年
新年のごあいさつ

1月31日(日)は投票日

今月の表紙

12月20日に中央公園でからいもくん像の除幕式が行われました。この像は、町の宝である子どもたちがますます光り輝くことを願い、地元企業協力のもと設置されました。

こいの声

▼中央公園にからいもくん像が設置されました。町の新たなシンボルとして子どもたちを見守ってくれることでしょう。同時にバイクの遊具もできており、子どもたちに人気が出そうです。感染症対策を行って、ぜひ遊んでみてください。(眺)



からいもくん便り
大津町総合情報メール

大津町公式
アカウント

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください (スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。

